

**2022年度
「正会員に対する活動助成」活動報告書**

提出日 2023年 4月 12日

(フリガナ) 団体名	コウエキシャダンホウジン ナガノケンシャカフクシシカイ 公益社団法人 長野県社会福祉士会		
代表者名	役職名 かいちょう 会長	氏名 かみじょう みちお 上 條 通 夫	
所在地	〒380-0836 長野県長野市南県町685-2 長野県食糧会館6F	TEL:026-266-0294	
		FAX:026-266-0339	
		E-mail: info@nacs.jp	
連絡責任者名	役職名 じむきよくちょう 事務局長	氏名 みむら ひとし 三 村 仁志	
連絡責任者 連絡先	TEL: 026-266-0294	FAX: 026-266-0339	
	携帯:	E-mail(PC): info@nacs.jp	

■活動報告の詳細

活動名称	「入会促進に向けた情報発信プロジェクト」
活動の目的	<p>入会を一層進めるため以下の取組みを進め、県士会の魅力や組織の強みを生かした新たな長野県社会福祉士会のイメージを創り、30周年を新たなスタートとする。</p> <p>1. ホームページを一新し、会の魅力や強みをアピールし、メッセージ性があり、親しみ易い内容に構築する。</p> <p>2. 「ブランディング」の取組みを通し 20代の若い会員等幅広く巻き込み、会のブランド構築を進め組織の一体感や活動を盛り上げるエネルギーを醸成する。</p> <p>3. 「ブランディング」で構築した県士会のブランドコンセプトをホームページ等に反映する。</p>
実施した活動の内容 会議・研修会・イベント等の開催日時、場所、参加者数等の活動内容の詳細を記入 ※別添（様式自由）にて提出可	<p>1. ブランディングの取組み</p> <p>20代の会員10名により5回のセッションを行い長野県社会福祉士会の「ブランドアイデンティ」を策定した。</p> <p>●第1回ブランディング 11月8日（火）18:30～Zoom8名参加 ①自己紹介②ブランディングの説明と進め方の確認③3C分析(当会の良い点、他団体にはない強み、有資格者の求め)</p> <p>●第2回ブランディング 11月16日（水）18:30～Zoom7名参加 ①「こんなホームページがいいな」の発表 ②ターゲットは誰か、何を期待されているか ③長野県社会福祉士会の強み、特徴</p> <p>●第3回ブランディング 11月30日（水）18:30～Zoom8名参加 ①どんなブランドか（こう思われたいを文章化）②ブランド・アイデンティティ案だし ③ホームページ掲載内容の検討</p> <p>●第4回ブランディング 12月8日（木）18:30～Zoom7名参加 ①ブランド・アイデンティティを一つにまとめる意見交換 ②ホームページ掲載内容の検討</p> <p>●第5回ブランディング 12月16日（水）18:30～Zoom7名参加 ①ブランド・アイデンティティ決定 ②ホームページのイメージ</p> <p>2. ホームページ作成</p> <p>①内容の整理 ②魅力の打ち出し方 ③会員用ページの活用 12月から打合せ作成に着手 令和5年3月完成</p>

活動の成果

1. ブランド・アイデンティティの策定
 - (1) ターゲットは誰か（長野県内に住む20代から30代の社会福祉士有資格者）
 - ・向上心があり、勉強したい意欲がある
 - ・学んだことを現場の仕事に活かし問題を解決したい
 - ・仲間を増やし横のつながりをつくりたい
 - ・業務の不安を払拭したい
 - (2) 社会福祉士会の特徴、魅力的なところは何か
 - ・多分野で多様な職種の人、年齢層が広い人がいる
 - ・他分野の気づきを得ることができる
 - ・県内のソーシャルワーカーとのつながりを持っている
 - ・同じ資格をもつ色々な職種の方と横のつながりがある
 - ・専門分野でのスキルアップ、ステップアップできる制度がある
 - (3) 何故社会福祉士会に入ることをお勧めするのか（提供の価値）
 - ・その人らしさを実現
 - ・自信を持ってもらえる
 - ・仕事のモチベーションにつなげる
 - ・人々の暮らしを支える
 - ・知識や技術を得て、利用者の幸せにつなげる
 - (4) 社会福祉士会に入会を勧めるかの価値の裏付け
 - ・豊かなつながりと学び
 - ・つながりたい、学びたい
 - ・困ったことを解決したい
 - ・横のつながりをもって自身の成長へつなげるため

ブランド・アイデンティティ

長野県社会福祉会は

「豊かな学びとつながりで自己実現をめざす仲間」です

2. ブランド・アイデンティティ策定から得たもの
 - (1) 20代の若い会員の積極的な関りでホームページの作成が進んだ
 - (2) 入会促進に向けたターゲットを明確にできた
 - (3) 若い社会福祉士は何を求めているかを明確にできた
 - (4) 入会促進に向けて取組むべき方向性が明確にできた
 - (5) 県士会の存在意義を再確認できた
3. 入会促進に向け取組むべきことが明確化
 - (1) ブランド・アイデンティティが策定でき、今後の取組むべきことはブランディングそのものである。
 - (2) 学生へ入会のメリットの働きかけを進める。
 - (3) ブランド・アイデンティティを活用し、ホームページに限らず SNS 等を活用した積極的な取り組みが必要である。
4. ブランディングで取組んだ新たな若い力を原動力に輪を広げる
 - (1) ブランディングメンバーの繋がりを大事にし、新たな活動グループを組織し応援していく。
 - (2) 新たな若い会員グループが中心になって、若い仲間を増やし、活動を活性化していく。
 - (3) 若い会員の声や風を会活動に反映させていく。
5. 新たなホームページの作成（リニューアル）
 - (1) ブランド・アイデンティティを活用し、ターゲットを明確にしたトップページ作成ができた。
 - (2) 若い会員の顔や生の声を載せることでさらに強いメッセージが発信できた。

<p>活動実施を通じての課題</p> <p>実施していく中で、見えてきた活動遂行における課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県士会のブランド・アイデンティティと外からみられる会の価値イメージ同じくなるような活動を如何に展開していくか。 2. ブランディングに取り組んでもらった20代若い会員たちの継続的な取組のサポートとそれを核にした会活動の活性化を如何に進めるか。 3. 若い人たちはより気軽に情報キャッチできる SNS が主流になりつつあり、ホームページから今後どのように SNS 等へ広げていくか。 4. 活動を視覚的にアピールできる動画作成まではできなかったが、今後作成していく必要もある。 5. 大学生の時から社会福祉士会に入会するメリットを如何にアピールし働きかけるか。 6. コロナ禍で余計に失われている会員同士のつながりを如何につくっていくか。 7. 若い会員の加入促進は、全会員が意識して取り組んでいかねばならない課題である。 8. 今回の取組みを機に、若い人たちの入会促進が図られたかどうかを検証していく。
<p>活動の実施状況・実施結果に関する情報の公開</p> <p>あてはまるものにチェックと内容詳細を記入ください</p>	<p>※貴法人のホームページでの公表は必須となります。</p> <p>情報の公開方法（複数選択可）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 （ホームページで公開する）</p> <p><input type="checkbox"/> その他 （ ）</p>

■活動の決算報告

（1）今回応募した活動にかかるすべての収入

	金額（円）	詳細（内容・単価×個数など）
1. 本助成金申請額 ※1	1,000,000円	日本社会福祉士会助成
2. 本助成金以外の収入額 ※2 1) 補助金・助成金収入額 2) 寄付金収入額 3) 自主財源 4) その他	804,000円	3) 長野県社会福祉士会自主財源
3. 活動収入合計 ※3=※1+※2	1,804,000円	

(2) この活動の支出

費目・品名	金額 (円)	詳細 (内容・単価×個数など)
1. 本助成金対象経費	1,804,000円	サイト設計費 150,000 CMS (WordPres) 設置 50,000 トップページデザイン、コーディング 100,000 下層ページデザイン、コーディング 630,000 レスポンスデザイン 100,000 Googleカレンダー埋め込み 30,000 Google検索 10,000 文字サイズ変更 30,000 資料請求・お問い合わせフォーム設置 20,000 ブランディング費用 300,000 原稿作成 100,000 進行管理費 120,000 消費税 164,000
活動支出合計	1,804,000円	